

# 大 南

contents

館長エッセイ 宇野 史郎.....	1
特集：自分流図書館活用術.....	2～3
16年度利用統計.....	4
シリーズ：利用者サービス③.....	4～5
news news.....	5
informations.....	6～7
図書館日誌.....	8
staff column 法川 ゆかり.....	8

## 館長エッセイ

## さくら前線

今年も、さくら前線が通り過ぎていきました。四季のなかでも、一番良い季節ですね。時々、江津湖周辺を散策するのですが、つばき、うめ、もも、さくら…へと様子が変化するたびに、心が自然と和んできます。この時期のさくらは、私たちの生活そのものを表現する、まさに春の風物詩となっています。

卒業と入学、退職と入社、そこには僅か10日間で一斉に咲き誇り、そして散っていく、さくらの花の光景が人々の別れと出会いを象徴するものとして、私たちの心情に刻み込まれてきました。さくらほど日本人が愛し、その一方で忌む花はないとまで言われてきました。

さくらは、1月から5月にかけて日本列島を縦断しながら、咲き誇っては散っていきます。そこに、多くの日本人は自らの生き方に重ねあわせてきました。しかし、その出会いや別れを彩る花が、どうしてさくらでなければならないのか。いつ頃から、そのように意識されるようになったのか。そんな疑問を抱いて少し調べてみると、さくららしさ=日本らしさの語りが伝説から

現実の世界へと派生してきたのは、意外にも明治に入ってからのことようです。

さくらの歴史は古いのですが、実は日本のさくらの8割を占めるまでになったソメイヨシノは、明治維新とともに表舞台に登場し、そのソメイヨシノによって春の姿が一変し、良きにつけ悪しきにつけ、日本の近代化の過程をそのまま背負ったものとして表現されるようになったようです。しかも、人間の一生とほぼ同じサイクルをたどることから、一個人の歴史に結びつきやすかったとも言われています。そのソメイヨシノは種子から育った樹はなく、すべて接木か挿木によるのだそうです。桜には自家不和合性といって、同じ樹のおしべとめしべの間では受精できない性質があり、できた種には必ず別の樹の遺伝子がまざるため、すべてが複製（クローン）なのだそうです。

さくらのことを考えていた時に、ソメイヨシノをとおして近代日本を読み解く、もうひとつの「日本」論、『桜が創った「日本」』（佐藤俊樹著、岩波新書2005.2）に出会いました。是非、一読してみてください。さくらの見方が一変すると思います。

宇野 史郎 (うの しろう)

商学部教授  
 専門：都市流通とまちづくり  
 平成16年1月から図書館長  
 ソメイヨシノをとおして近代  
 日本を読み解く『桜が創った  
 「日本」』



Uno Shirou

# 自分流図書館活用術

## (Part1) 商学科2年 三隅 昭彦

現代は、情報化社会の時代。インターネットの普及によって、大量の最新情報を手にすることができるようになった。かつては、情報を得る手段として新聞や雑誌・書物といった活字から情報を得ていたが、現代は、テレビやインターネットからの映像や音声など豊富なメディアを通じて、情報を得ることが可能となった。つまり、紙面の情報から電子の情報へと変化を遂げたのである。同時に、情報は至る所に飛び交い、その情報を手に入れなければ時代の流れについていくことも困難になっている。

『知りたい』ということは、大切なことだと思う。その要求を満たす場として図書館は、身近な位置にあり、情報提供の場としての役割を果たしている。図書館にある図書・資料の中には、たくさんの情報が埋まっているが、その膨大な資料の中から、自分に必要な図書を借りて情報の発掘ができる。大学に入学して、どんな本を読めばいいのかわからないと悩む人もいるかも知れないが、まずは図書館に足を運んでほしい。本棚の間を歩き回り、これは面白いかもしれないと思う本があれば、是非、借りてほしい。自分でわざわざ本を買う必要もない。読み始めて、自分が期待していた内容でなければ、また別の本を借りればいいのだ。そういったことを繰り返すことで、次第に自分がどんな本が好きなのか、ということもわかってくる。

何を読んだらいいかわからないということで、本を読むこと自体をあきらめてしまうことは良くない。それ自体、新しい知識への出会いまでも遠ざけている。まずは、きっかけを作るのだ。

休みの時間や講義が休講になった空き時間にも、図書館へ行き館内を歩き回る。新たな知識への出会いを求めて欲しい。

## (Part2) 経済学科3年 平 健志

私は、学園大の図書館に入ってまず、館内の雰囲気には驚いた。とても清潔感があふれていて、静かで落ち着ける場所だった。そしてまた、書棚に並ぶ本の量にも驚いた。なんとそれは70万冊を超えており、本の種類も専門書から一般書・小説まで、新聞コーナーでは九州各県の地方紙が閲覧できる。その他に、各種資格試験・就職試験の問題集やファッション雑誌まで幅広く利用者へ提供されている。私の通っていた高校は、県内高校の中でもトップレベルの蔵書数を誇っていて、高校の入学当時驚いていたが、その数倍の蔵書数を学園大は誇っているのだ。それにもかかわらず館内の本はきれいに整理され、全ての本がコンピュータで管理されているため探している本を見つけやすいというのも、利用者の私たちにとってとても便利な環境である。さらに図書館には図書・雑誌以外にも、映画DVDやビデオ、音楽CDやケーブルテレビ・衛星放送まで視聴できるAVコーナーがあり、空きの時間があるときはよく利用している。

私が主に図書館を利用するのは、レポートや論文作成のためにパソコンを借りるときである。大学生になると、講義の課題としてレポートを書かなければならない。履修する科目でレポートの提出回数や文字数などはまちまちだが、どの学生も1度は必ず作成することになるので、レポート・論文を作成するときは図書館のパソコンを利用すればよいと思う。図書館でパソコンを利用する利点は、膨大な資料から必要に応じて参考資料を検索し、何冊も書棚から取り出してレポート作成が出来るところである。

そのほかにも図書館の利用方法はたくさんあり、人それぞれである。「図書館を利用するもよし、しないもよし」、新入生のみんなは、これから図書館の使い方を学び、自分なりの活用法を見つけてほしい。

### (Part3) 東アジア学科4年 横田 要

3年前私が入学したとき、まず驚いたことのひとつに図書館がありました。なぜかという、学園大の図書館は他の大学と比べても非常に設備が整っており充実しています。私もまだ利用したことのない設備も多くありますが、私が主に利用しているスタディールームと研究個室を紹介したいと思います。

館内に入り1階左手の一番奥に、スタディールームという部屋があります。私は図書館を利用する際、そのほとんどをこのスタディールームで過ごしています。そこでは友達と自由に話をしながら勉強することができるので、講義の課題やレポートなど友達と一緒に作成したいときは非常に便利です。また、スタディールームにはパソコンも設置してあるので、情報教育センターのパソコン室へ行かなくても、館内の資料を利用して調べながらレポートの作成もできます。パソコンは二階のグループ学習室にも設置してありますから、スタディールームのパソコンが満杯で利用できないときには、こちらも利用してみてください。

もうひとつ私がお勧めするのは、二階にある研究個室です。二階のレファレンスカウンターで利用手続きを済ませ、鍵を預かって利用します。テスト前など家でなかなか集中できないときやひとりでレポート作成に集中したいときなどは、ここを利用すると気が散らず取り組むことができますから、ぜひ利用してみてください。

その他にも雑誌は多数揃っていますし、AV設備もあります。図書館は、皆さんの使い方によって、いろんな用途で活用できる学習スペースです。気軽に立ち寄って、大学生活をより充実させるために役立ててほしいと思います。高校までとの違いに最初は戸惑うことがあるかもしれませんが、学園大生としての楽しみも見つけて下さい。

### (Part4) 福祉環境学科4年 池上 知佳

図書館は、私の学生生活で欠かす事のできない存在です。大学入学当初は、館内の広さと蔵書数に驚きましたが、明るく開放感のある館内ですから、ゼミの研究やレポートを書く時の利用はもちろんのこと、特にこれといった目的がないときでも、図書館に行けば必ず何らかの情報を得ることができますので、次第に利用する機会も増えてゆきました。

最近よく利用するのは、スタディールームのパソコンです。インターネットを利用すれば、自分が探している最新の情報を必要な部分だけ、短時間で入手することができます。しかし、インターネットから収集できる情報には不確実な偏りのある情報もありますから、その散乱した情報の中から真実を見抜く目を養わなければなりません。

また、図書館へ立ち寄った際には、新聞や雑誌もよく読みます。新聞は全国紙から九州の地方紙、英字新聞などがあるので、日頃から数紙に目を通し、4年生という就職を考える時期でもあり時事に関心を持っておきたいと考えています。雑誌は各階にあり、1階の生活情報・ファッション誌をはじめ、2階3階には経済や福祉・教育・デザインなどの専門雑誌があり、用途に応じて使い分けています。

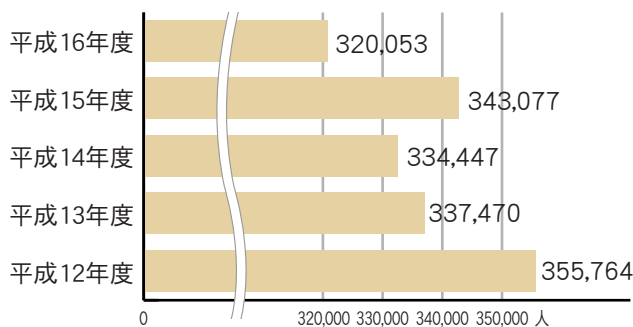
私が、なかでも最も便利だと感じる点は、開館時間が長いことと図書の貸出冊数が制限されていないことです。試験前などにも遅くまで勉強でき、定期試験期間中等の貸出し冊数制限がされているとき以外は、読みたい本は何冊でも借りることができるというのは、私にとって最大の魅力です。また、夏休み・春休み期間には長期貸出のサービスもありますので、自分のペースで読書を楽しめます。

図書館を自分らしく最大限に活用し、有意義な学生生活を送ってください。



# 平成16年度 利用統計

### 年間入館者数 (5年比較)



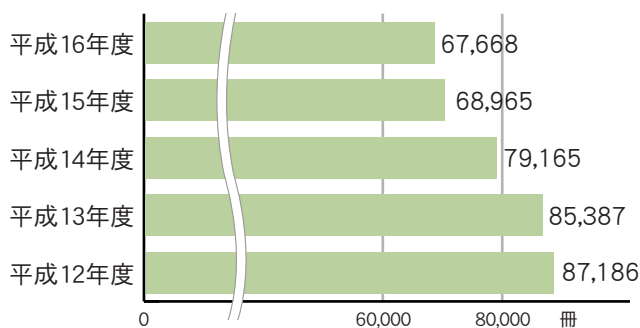
### 月別入館者数

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
28,471	30,966	39,185	56,371	7,791	14,472

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27,210	29,033	24,888	46,525	8,797	6,344	320,053

### 年間貸出冊数 (5年比較)



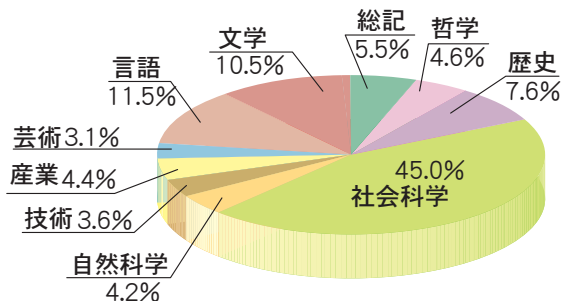
### 月別貸出冊数

単位：冊

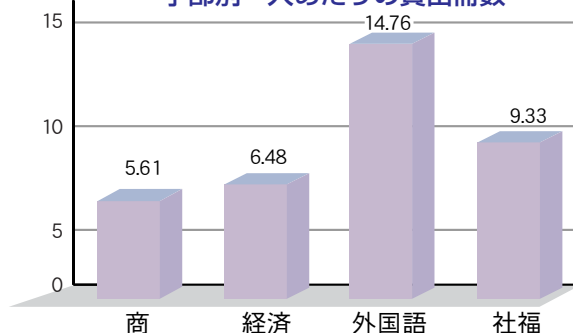
4月	5月	6月	7月	8月	9月
3,917	6,737	7,681	9,816	3,046	4,287

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5,747	6,288	6,390	9,451	2,754	1,554	67,668

### 分野別貸出比率



### 学部別一人あたりの貸出冊数



貸出総冊数	商	経済	外国語	社福
	13,297	13,666	11,647	16,245

※商学部および社会福祉学部は、第一部・第二部を合わせた数値

## シリーズ 利用者サービス③

## AV コーナー

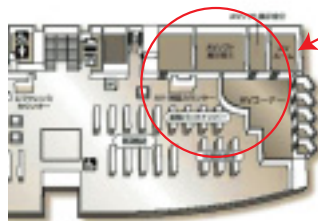
AV コーナーでは語学CD・カセットの貸出や、AV 展示室にあるビデオ、DVD、LD、CDなどの視聴ができます。また、CATVや衛星放送なども見ることができ、利用や貸出の手続きはすべてAVカウンターで行っています。

AVソフト展示室①には、日本・外国の話題の映画や語学教材。AVソフト展示室②には、教養・教育関係ビデオから就職に関連するビデオまで多彩に揃えてあり、多数の学生が訪れて“満員御礼”になることもしばしばです。

まだ利用したことがない人は、授業の空き時間や気分転換にひとりで、あるいは友達を誘ってぜひ利用してみてください。

### 〈おもなサービス〉

- ・語学CD、カセットの貸出・返却に関すること
- ・AVコーナーの利用手続き
- ・和雑誌の配架と管理
- ・外国新聞の管理



AV コーナーは2階への階段を上  
がると左手奥にあります。授業期間  
中は9:00～22:00まで利用でき  
ます。日曜日は利用できませんの  
でご注意ください。

## 平成 16 年度学生懸賞論文入賞者決定

平成 16 年度学生懸賞論文には 13 篇の応募があり、図書館委員会委員と専門審査委員による審査を経て、特選 1 篇、入選 4 篇、佳作 4 篇の入賞者が決定しました。特選については、9 年ぶりの受賞者となりました。

表彰・賞金授与式は、12 月 15 日(水)午後 12 時 30 分から図書館 AV ホールで行われ、宇野館長をはじめ論文審査にあたった教員、関係者約 30 人が出席しました。表彰式に引き続き行われた、発表会では、入賞者 5 名が執筆にあたっての創意工夫や苦労ばなしなど、持ち時間 10 分をこえてスピーチする場面もありました。

なお、入賞(特選・入選)論文については、「平成 16 年度学生懸賞論文集」として平成 17 年 2 月に発行され、図書館 3 階研究紀要コーナーで閲覧できます。

### 《特選》

盛多 みどり(東アジア学科 4 年)『対日新思考』にいかに応えるか - 歴史認識問題を中心とした一考察 -

### 《入選》

下川 友香(商学科 2 年)『時速の経済』に対応したイトーヨーカ堂の小売マーケティング

- 成熟化時代に見られる大規模小売マーケティングの事例研究 -

井上 裕加里(国際経済学科 4 年) サービス残業発生の原因とその撲滅を目指して

村上 優子(国際経済学科 4 年) ファーストフードからスローフードへ - 日本の伝統的食スタイルを守るために -

藤田 真幸(社会福祉学科 4 年) 見落とされた虐待 - ネグレクトを中心に見た虐待対応の視点 -

### 《佳作》

古川 洋章(経済学科 4 年) 商店街活性化を考える - 情報化とコミュニティ -

山本 美智子(経済学科 4 年) デジタル・マネーと政策課題

山口 真理子(経済学科 4 年) ISO 認証 - 品質・環境への取り組み -

富永 飛鳥(英米学科 3 年) “David Swan - A Fantasy” が読み続けられる理由



## 2 日間の職場体験

熊本市立総合ビジネス専門学校のインターンシップ学生(仲光理沙さん・西本麻美さん)2名が、3月11・12日の2日間、図書館で職場体験をしました。初日のオリエンテーションに引き続き、1階メインカウンター・2階レファレンスカウンターでの実習を体験しました。初日のメインカウンターでの実習では、最初はぎこちないところもありましたが、笑みを絶やさず一生懸命に利用者へ応対していました。

実習後、「利用者が資料を簡単に見つけられるよう、配架・点検作業が頻繁に行われていることに気づきました」「図書館にない資料も相互貸借サービスで他館の資料を借りて利用できて、学生さんは便利ですね」と、感想を語っていました。



### \* 利用者の声 \*

英米学科4年 宮川明子

#### Q. AVコーナーを利用し始めたきっかけは?

もともと映画が好きでした。入学してすぐ、初めて図書館に足を運んだ時に AV コーナーに立ち寄り、資料が豊富にあるのを見て利用したいと思いました。その後は毎日とまではいきませんが、週に4日くらいは利用しています。

#### Q. どういった利用をしていますか?

語学教材の CD などをよく借ります。AV ブースで古い映画のビデオもよく観ますし、CD も最新のものから古いものまで幅広く聴きます。特に私はレコードをよく聴きます。最近ではプレイヤーの針が新しくなったから、音が一段と良くなりましたよ。レコードはおすすめです。

#### Q. 利用してよかったことは何ですか?

AV ブースで音楽を聴いたり、映画を観たりするととてもリラックスできます。また語学教材が多いので自分で買わなくて済むことです。学生なので、お金が…(笑)。

#### Q. 今何か目指しているものがありますか?

英検の準1級の資格がとりたいので頑張っています。就職は英語を生かせる仕事がしたいので、海外に行く機会が多い職種や会社を選ぼうと思っています。

#### Q. 何か要望はありますか?

私はスペイン語の勉強もしているんですが、英語以外の語学教材は少ないので、スペイン語、フランス語など英語以外のリスニング用 CD を増やして欲しいです。やはり本を使っただけでは不十分なので…。

## 図書館ガイダンスの案内

図書館では、新入生対象の図書館ガイダンス、二次以上へのステップアップガイダンスを実施しています。図書館蔵書検索からデータベースを利用した検索実習まで、皆さんの利用目的に応じて、参加・ご活用ください。

### 【学部生】

**新入生** ※初歩的な図書館の利用方法を説明します

#### 図書館オリエンテーション

実施日:平成17年4月6日(水)  
 時間・場所:新入生オリティ・プログラム参照  
 内容:図書館紹介ビデオ『図書館へ行こう!!』の上映など

#### 図書館ガイダンス

時期:平成17年4月中旬～6月  
 時間・場所:担当の先生から事前告知があります  
 内容:蔵書検索の実習、館内ツアーなど

#### 2年次以上 (1年次も含む)

論文・レポート作成の資料収集やデータベース検索実習

### ステップアップガイダンス

時期:新入生ガイダンスと並行して実施(5月中旬～)  
 内容:データベースからの資料収集法  
 実施形態①授業科目単位  
 (担当の先生から事前告知があります)  
 ②個人・グループ単位  
 (レファレンスカウンターで随時受付・実施)

### 【大学院生】

#### 新入生

#### 図書館ガイダンス

実施日:平成17年4月5日(火)  
 時間・場所:14:00～ 図書館地階AVホール  
 内容:データベースの紹介、館内ツアーなど  
**2年次以上**(1年次も含む)  
 レファレンスカウンターで随時受付・実施

## 「気軽に雑誌コーナー」の一部を変更

昨年4月から図書館1階フロア中央に開設した「気軽に雑誌コーナー」の購読雑誌の一部を変更しました。このコーナーの13誌については、図書館で長期間保存する雑誌ではありませんので、バックナンバーの利用にはお応え出来ないことがあります。ご利用の際は、十分ご注意ください。

17年4月からの購読雑誌タイトル名は以下のとおり。

タイトル	出版社	刊行頻度	ジャンル
B E - P A L	小学館	月刊	アウトドア情報誌
B R U T U S	マガジンハウス	月2回	アートに関する情報誌
FINEBOYS	日之出出版	月刊	男性ファッション誌
MEN'S CLUB	アシェット婦人画報社	月刊	
M O R E	集英社	月刊	女性ファッション誌
n o n - n o	集英社	月2回	
じ ゃ ら ん	リクルート	月2回	旅行・レジャー誌
スクリーン (SCREEN)	近代映画社	月刊	映画雑誌
ダ・ヴィンチ	メディアファクトリー	月2回	書籍案内 (コミック・文庫含む)
熊本ハイカラ	熊本ハイカラ	隔月	熊本県の生活提案誌
T a r z a n	マガジンハウス	月2回	スポーツ誌
M O N O マガジン	ワードフォトプレス	月2回	生活情報誌 (新製品情報)
オレンジページ	オレンジページ	月2回	料理

## 熊本日日新聞記事データベースを追加

学内のインターネットへ接続したパソコンであれば、図書館をはじめ学内のどこからでも利用できるWebデータベース検索サービスに、新しく**熊本日日新聞記事データベース**が追加されました。

17年4月現在、利用できるWebデータベースは以下のとおり。

### 新聞記事

朝日新聞全文記事データベース(1984-)……〈10〉  
 毎日新聞全文記事データベース(1987-)……〈5〉  
 読売新聞全文記事データベース(1986-)  
 日経テレコン21(日本経済新聞)(1975-)  
 熊本日日新聞記事データベース(1988-)

### 法律関係 (全判例必要全文)

リーガルベース……〈5〉

### 有価証券報告書 (有価証券上場企業)

eol DB Tower Service……〈5〉

### 雑誌記事索引

[国内]

MAGAZINEPLUS……〈10〉

CiNii

[海外]

Econlit(経済学)……〈4〉

SSI(社会科学)……〈4〉

MLA(言語学)……〈4〉

### 英語辞典

OED(Oxford English Dictionary)

※ 〈 〉 内は同時アクセスできるユーザー数

## 学生懸賞論文募集要項

- ◆テーマ:自由論題
- ◆応募資格:本学学生(大学院生・研究生・科目等履修生を除く)
- ◆応募期限:平成17年10月7日(金) 17:00
- ◆提出先:図書館4階 事務室
- ◆審査方法:図書館委員会と専任教員の審査にもとづき、教授会の議を経て決定。
- ◆懸賞金:特選=賞状および賞金10万円  
入選=賞状および賞金5万円  
佳作=賞金2万円  
奨励賞=図書カード5千円  
※入賞者(特選・入選)の論文については、「学生懸賞論文集」として発行。
- ◆入賞発表:12月上旬(予定)館内掲示板ならびに、ホームページで発表。
- ◆表彰式:12月中旬(予定)。入賞者(特選・入選)による報告会を開催。

### ◆応募の注意

- ①応募は、一人一篇(共同執筆も可)とし、未発表の論文とする。
- ②パソコンまたはワープロ(A4用紙)で作成し提出すること。  
※(和文・中国文・韓国文:1行40字×40行、英文:1行70字×28行)
- ③応募論文は返却しない。
- ④別紙の「平成17年度学生懸賞論文応募票」※を添付して提出すること。※図書館ホームページでダウンロードできます。

### ◆執筆要領

- ①論文には表紙をつけ、論題のみを記入。なお、表紙は枚数に含まない。
- ②和文:8000字~16000字以内  
英文:横書き・ダブルスペースで上記字数に該当する程度。  
中国文・韓国文の場合、上記字数に該当する程度。
- ③著書や新聞等の文献から引用した場合、出典(著者名・タイトル・発行所名・発行年月・頁等)を明記すること。  
ただし、ホームページ上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記すること。
- ④図表等は枚数に含む。それらを引用した場合、出所を明記すること。

## 遠慮しないで、チャレンジを…!!

私は、ゼミの先生から学生懸賞論文へ応募してみないかと勧められ、「自分の論文がどのように評価されるのかな?チャレンジしてみようか」といった軽い気持ちで応募しました。ですから、入賞の通知をもらったとき「ホントなの?」と、たいへん驚きました。受賞の喜びと同時に、自分の論文が論文集に掲載され図書館で多くの方々目に触れることへの多少のプレッシャーも感じました。しかし、審査を担当された専門分野の先生からの温かいアドバイスもあり、手直しを加えながら、無事、論文集が発行されてひと安心しています。

16年度から、表彰式に引き続き論文の主旨や作成で苦勞した点などを、他の受賞者や先生方の前で発表する場がありました。このことは、これからの社会人生活で活かせる貴重な体験だったと思っています。

学生の皆さん、懸賞論文の募集を知っていても「自分の論文なんて…」と遠慮しないで、このチャンスに、是非チャレンジしてみてください。自分の興味がある分野をより深く学び、新しい視点も必ず発見できますから。

井上裕加里さん(H.17年3月 経済学部 国際経済学科卒)

## 図書館利用者カード発行について

平成17年度の図書館通年利用を希望される方は、以下の要領で図書館利用者カードの発行手続きをお取りください。なお、新規にカードを申し込まれる方については、後日郵送となります。

- ・**手続期間:**①卒業生ならびに在学生の保護者……3月を除く通年  
②上記以外の一般利用の方……4月~5月・10月
- ・**受付時間:**月曜日~土曜日 9:00~21:00
- ・**必要書類:**本人であることを証明するもの(運転免許証・健康保険証・パスポート等)  
16年度に卒業生カードの発行手続きをされた方は、利用者カードの更新となりますので、手続きの際は必ず利用者カードをご持参下さい。
- ・**有効期間:**平成18年3月31日 (注記)②に該当する方については、発行手数料(1,000円)が必要となります。





## staff column

# “わからないことがあったら、 レファレンスカウンターへ”

### 図書館日誌

平成16年11月～  
平成17年3月

#### 見学者

16.11.11

千原台高校 48名

11.18

県立ひのくに高等養護学校 45名

11.20

熊本短期大学

社会科体育コース(S.40卒) 21名

12.8

出水商業高校PTA(鹿児島) 20名

12.9

人吉高校図書委員 5名

17.1.21

県立聾学校 40名

1.29

済洲大学校(韓国) 3名

2.1

韓国介護福祉協会 9名

3.17

大津高校 58名

#### 行事

16.11.21

休館(推薦入試)

12.15

学生懸賞論文表彰式

12.29～17.1.4

休館(年末年始休業)

1.15～1.16

休館(大学入試センター試験)

1.23

特別開館(定期試験)

2.3

春休み長期貸出(～4.13)

2.9

休館(全学部全学科入試)

2.10～2.13

休館(一般入試A日程)

3.6

休館(一般入試B日程)

3.31

休館(年度末処理)

“ありがとうございました！”この言葉を聞くたびに、私の心はパーッと晴れわたってくる。これは相談に来てくれた利用者が自分の疑問点が解決し、納得して帰っていく時に発してくれるものだ。カウンターで利用者向き合う者にとって、このうえない喜びの瞬間である。それは質問・相談してくれた利用者にとっても同じ気持ちではないだろうか。

レファレンス担当になって、間もなく1年が経とうとしている。この「レファレンス」という言葉自体なじみの薄い言葉であると思うが、要するに「相談窓口」だと思ってもらおうとよい。調べたいこと、わからないことがあったらまずレファレンスカウンターに来てみてください。図書館には豊富な資料が揃っており、今はインターネットという情報収集の手段としては強力なツールもある。私たちの仕事はこのような情報源を活用して、利用者みなさんの質問に答え、喜んでもらうことである。逆にこちらのほうが勉強させられる面も多々あり、その経験を次の調査の際に役立てる…、レファレンスの仕事はこの経験の積み重ねなのである。先日、国内では入手不可能な資料を、アメリカの大学に依頼して取り寄せたことがあった。手探り状態でのやりと

りであったが、無事目的の資料が届いた時には心底嬉しかった。このように入手困難な資料でも、世界を股に駆けて？探す努力もしているのである。『利用者」と資料を結びつけることは、図書館職員の大切な役割である』と図書館界では言われるが、私たちも常にその意識を忘れず、カウンターに立っている。だから私たちは利用者から質問を受けることが嬉しいのだ。でも残念ながら、今のところそういう機会はあまり多くない。それはもちろんこちらからのアピールが足りないところもおおいにある。これからはできるだけ多くの情報を発信しようと思っているので、「レファレンス」カウンターからの情報に関心をもってください。

“わからないことがあったらレファレンスカウンターへ”、これを機にこのフレーズをまず覚えてください。私たちはいつでもみなさんがレファレンスカウンターに来てくれるのを待っています。そして利用者に頼りにされるレファレンサー(レファレンス担当職員をこう呼ぶ)であり続けられるよう日々努力していきます。

利用者みなさん、一緒に調べましょう！そして喜びを分かち合いましょ！！

(奉仕課 レファレンス係  
 川川ゆかり)

大楠

第36号

2005年6月24日

編集・発行/熊本学園大学付属図書館  
〒862-8680 熊本市大江2丁目5番1号  
TEL (096) 364-5161 FAX (096) 362-5967  
http://www.lib.kumagaku.ac.jp/